



Rotary Club of AMA weekly report.

2015-16年度
国際ロータリーテーマ



世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 RI 会長 K.R.ラビンドラン 第2760地区ガバナー 加藤 陽一
 会長 東海 広光 副会長 西川 広樹 幹事 児玉 憲之
 例会日 毎週月曜 例会場 名鉄グランドホテル
 事務所 〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル
 TEL (052) 451-6617 FAX (052) 451-6710 e-mail : kk01-ama@eos.ocn.ne.jp



2016年4月25日（晴れ） 第4週 第2150回例会

Song ” それでこそロータリー”

Visitor 郡山佳也君（姫路東RC）

Attendance

会員	77名	欠席	9名	出席率	84.21%
----	-----	----	----	-----	--------

President Time 東海 広光 会長



皆さん、こんにちは。先週19日・20日・21日と汐止RC創立34周年記念式典に、17名の皆様のご協力をいただきまして、参加してまいりました。熱烈大歓迎で初参加の皆様は大変感激されたことと思います。ご参加の皆様本当にお疲れ様でした。ロータリーの国際交流の素晴らしさを感じていただけたことと思います。

さて、今日はロータリークラブとライオンズクラブとの違いを少しお話ししたいと思います。両者の違いは実務的には殆ど相違がありません。しかしあえて言えば、ロータリークラブは、1905年、アメリカのシカゴでポール・ハリスによって設立された職業倫理の高揚を学び、一人一人の職業を通じて社会に如何に奉仕するかという職業奉仕を重点に、「I Serve（私は奉仕する）」を理念とした団体です。これに対して、ライオンズクラブは1917年、アメリカのダラスで元ロータリークラブ会員だったメルビン・ジョーンズの提唱により誕生した社会奉仕を重点に、「We Serve（我々は奉仕する）」を理念とした団体です。しか

し、ロータリークラブの活動でも、We Serveの活動は多く見られます。また、ロータリークラブは週1回の例会開催に対し、ライオンズクラブは月2回の例会開催となります。そして大きな違いは奉仕活動の取り組み方の違いだと思われます。ライオンズクラブが奉仕活動を行う時には「我々は奉仕する（We Serve）」すなわちクラブ全体でまとまって一つの事業に募金を拠出します。原則として個人個人では奉仕しません。ロータリークラブは、全員がまとまって行う奉仕活動も沢山ありますが、基本的には「会員一人一人が奉仕活動の単位」です。すなわち、「私は奉仕する（I Serve）」「自己の責任と判断において、自分の職業を通して、社会に、世界に奉仕しよう」という考え方が基本となっています。ライオンズクラブはスローガンである、「Liberty Intelligence Our Nation's Safety（自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全を図る）」の頭文字をとってLIONSです。偉大な行為、高い理想を象徴しています。「ロータリー」という名前の由来は、会合を各自の職業上の事務所で【輪番制】で開いた経緯から名付けられました。LCの創立者メルビン・ジョーンズは元々RCの会員でしたが、RC内で会の運営にあたって意見が分かれた時、メルビン・ジョーンズは「奉仕活動に費用が発生するのは当然。ある程度の支出は仕方ない」が持論でしたが、これに対して「RCは職業を通じての奉仕を理念としている。お金はかけるべきではない」との意見が大勢を占めたことから、メルビン・ジョーンズはRCを離れ、LCを設立し、

Today	5月 9日（第2151回）
担当	大竹敬一 国際奉仕委員長
演題	汐止扶輪社歓迎夜間友愛例会 於 名鉄GH 11F 18:00
Next Week	5月16日（第2152回）
担当	家田安啓 職業奉仕委員長
演題	クラブフォーラム 職業奉仕委員会

第1分科会 立松絹久君



第一分科会は会長・幹事・会計・会長エレクト・副幹事・ロータリー情報委員長・ロータリー研修委員長が対象になります。最初に、服部良男が

バナーエレクトが、リーダーのご挨拶と戦略計画についてお話をされました。内容といたしましては各クラブへのお願いということで、奉仕活動の活性化、ロータリー財団100周年をお祝いする、またポリオ撲滅に関して是非クラブで話題にしてほしいとの事でした。また、マイロータリアンを複数名専任してマイロータリーを活用し、クラブセントラルに計画、実績を入力してほしいとのことでした。また、各クラブともフェイスブックなどのソーシャルメディアを活用しロータリーの活動を発信してほしいとのことでした。最後に地区がクラブ活性化のためのお手伝いをしますというお話がありました。

続きまして田中正規次期地区研修委員長より研修委員会についてのお話がありました。研修委員会としては情報を共有して、組織を作っていく次期指導者の育成を目指していくというお話でございました。具体的には、戦略計画と研修ということで、クラブのサポート強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージと認知度の向上、そしてクラブの5年後の姿を思い描いた年度目標を立ててクラブセントラルに入力し活用してほしいというお話をいただきました。続きまして、RLIにつきまして関口宗男次期RLI実行委員会よりお話がありました。従来は研修委員会でRLIを実施していましたが、次期はRLI実行委員会が担当することです。RLIの歴史と目的について詳しくご説明を頂きました。

続きまして黒田勝基次期危機管理委員長よりお話がありました。RIが危機管理を導入することになった経緯と、虐待、ハラスメントを防止し、万が一発生した時の対応、仕組みについてお話をいただきました。各クラブが奉仕活動に安心して取り組めるようサポートする委員会活動を目指すということです。次に大竹地区幹事より現状報告、河合次期地区会計長より地区資金の送金案内等のご案内がござい

寄付・寄贈を中心とした奉仕活動を展開したことから来ているようです。確かにLCはお金をかけた活動をしているとのイメージがあります。地域の主だった場所には〇〇ライオンズクラブ寄贈と銘打ったモニュメントや看板・横断幕が目を引きまします。これに対してRCは街中でもなかなか〇〇ロータリークラブというモノには巡りあえません。LCはDonation（寄付・寄贈）を重んじる、というイメージが先行しているのは確かでしょう。その他に違うところは設立時の目的の違いーLCは奉仕活動&親睦に対し、RCは互惠主義で外部への奉仕は後から追加（シカゴRCの1906年に追加された定款第2条の目的の第3項）。両者の共通点はRCにローターアクトがあるように、LCにはレオクラブあります。また、留学生の支援制度も同様なものがあります。

Secretary Report

児玉憲之 幹事

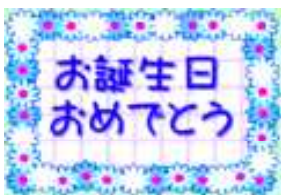
- 1 次週5月2日（月）は定款による休会です。次回例会は5月9日（月）の汐止RC歓迎夜間友愛例会です。
- 2 冊子「ロータリーの歴史に学ぶ」申し込みのご案内
1冊864円
※ご希望の方は事務局までお知らせ下さい。
- 3 先週と今週の震災義捐金は100,000円です。

親睦活動委員会

5月の誕生日のみなさん

会 員	誕生日	夫 人	誕生日
田中 清隆	S.9.5.20	川口 廣子	S.12.5.1
鈴木 和彦	S.22.5.5	藤田美枝子	S.14.5.15
真木 伸一	S.24.5.20	（淳士）	
		高山美津子	S.27.5.19
		武藤 道子	S.31.5.25
		児玉さつき	S.38.5. 8

敬称略



祝えや いざ 君のバースデー

いついつまでも 健やかなれ

例 会 変 更

例会日	クラブ名	場 所
5/11（水）	名古屋和合	ウェスティンナゴヤキャッスル
	名古屋南	休会
5/16（月）	名古屋東	ウェスティンナゴヤキャッスル
	名古屋昭和	東急ホテル

ました。

第2分科会 大西晃弘君



第2分科会はクラブ運営部門の分科会で、次期副会長、クラブ奉仕委員長、親睦活動委員長、SAAが参加されています。

我がクラブの黒野次期ガバナー補佐、近藤次期地区研修委員長の順でお話しましたが、「真のロータリアンになろう」をテーマに、お二人からクラブ運営の基本は例会であり、例会をいかに有意義で楽しいものにしていくかを常に考えなければいけないとのお話がありました。例会が充実していれば、クラブが活性化し、それがロータリーの活性化につながる。他のクラブの方に、是非あのクラブの例会にメーキャップに行きたいと思われるような例会作りを実施してほしい。また、奉仕が周りの方たちを笑顔にすることであれば、奉仕をしようとする私たちが笑顔でなければならない、私たちロータリアンを笑顔にするのは、まさに例会の場である等様々なお話の中で、私自身、次年度の親睦活動委員長として、親睦活動委員会の重要性、責任の重さを再認識させられた研修会となりました。

第3分科会 青本道春君



テーマ：ロータリーの公共イメージを皆で広めよう。各委員会との連携を深め奉仕活動の意義を広めよう。

◎ソーシャルメディア・マスメディアの活用

◎ホームページの再確認

◎マイロータリーに登録

◎クラブセントラルの活用

◎クラブロータリーのアットワークに登録の挑戦

上記等を活用し、いままで以上に広報の大事さを認識する。

ロータリーが何者であるかロータリーがどのような活動をしているか一般の人にもっと広報すべきである。例えば、ポリオ撲滅も日本人のロータリアンが提案し世界的規模に

発展し撲滅寸前まで活動している事など、社会全体にロータリーの活動を広報し、また、地区公共イメージを高める努力をし、隠れたロータリアンを見つけ、仲間を増やし、奉仕を主体に世界平和を目指す。その為にも広報の大事さを認識するべきである。それも広報の担当者だけではなくロータリアン皆で協力する事である。各委員会の活動方法・結果を広報委員と連携を取るべきだ。

第4分科会 稲垣秀樹君



2016～17年度地区研修・協議会では、社会奉仕部門と国際奉仕関連部門の2部門が合同で開催されました。社会奉仕の中には、社会奉仕・環境保全・RCC（Rotary Community Corpsーロータリー地域社会共同隊）の3つの小委員会があります。

地域の人たちに社会奉仕活動をアピールしていくためにも、ソーシャルメディアやオンラインツールを使った活動は欠かせません。次年度は、今以上にそれらを駆使して、情報をスピーディーに流してもらいたいと思います。次年度は、フェイスブックを使った投稿がかなり増えてくるであろうと考えております。毎年提出される社会奉仕活動報告書を見れば、各クラブがどのような社会奉仕活動をしているのかが分かります。そのためにも、マイロータリーへの登録を是非していただき、ソーシャルメディアやオンラインツールをよく見ていただくように要請がありました。

次年度の社会奉仕活動については、人災・防災についての項目が重点になってきますので、各自治体とNPO法人との関係を密にして、いつ起こるかわからない南海トラフ大地震について対応を早期に深めていくことが大切です。

RCCとは、ロータリーの奉仕に対して関心を持ったロータリアン以外の人たちとともに活動する委員会のことであります。日本には35のRCC活動があり、そのうちの17のRCC活動が第2760地区に集中していることからお分かりのように、この地区におけるRCC活動は活発に行われている。

「あいち生物多様性戦略2020」の情報を各クラブに提供していく方針は昨年同様継続する。生態系ネットワークの

実現に向け、活動を支援していく。

国際奉仕は、現地へ行って、現地の子供たちの顔を見ることが大切で、活動に参加して初めて実感できる活動であると思います。今年度は、6月にはミャンマーに水資源の補助事業を行うことを予定している。WFF（World Food s Festa）の資金を活用して、国際奉仕活動の一助にしたい考えを示しており、次年度も同様の事業展開を考えています。また、グローバル補助金を有効に使う新しい事業を一つ立ち上げていく考えを示された。地区にはグローバル補助金が使われずに残ってしまっているの、ぜひ活用してもらいたいとの要請がありました。

最後に、今回の研修で得たことを基に、次年度社会奉仕活動の指針としたいと思います。

第5分科会 加藤 徹君



研修は「真の職業奉仕がロータリーを救うか」というタイトルのDVDによるものと、匹田委員長による講話の2本柱で行われた。DVDでは会員減少というロータリーの危機を救うのは、ロータリーの原点である職業奉仕に立ち返り、職業倫理を高めることであり、そのために会員による「4つのテスト」の実践が大切であると示唆。匹田委員長の講話では、難しい言葉である「職業奉仕」の意味を、高潔な奉仕の心をもってあなたの職業を営むことであり「顧客満足度あげるサービス」さらに「おもてなし」というやさしい言葉に置き換えて解説された。

第6分科会 後藤 眞君



リーダー寺元善雄次期青少年奉仕委員長の下、第6分科会へ行って参りました。テーマは「次世代リーダーの育成、公共イメージと認知度の向上」で勉強して参りました。また、オーストラリアより50年前の交換留学生、名古屋北高校生徒、加藤タカコさんとの出来事を賞賛するために来日され、話をされました。

『青少年奉仕の基本原則』国際ロータリーの第5の部門、

ロータリーが若い世代を重視していることを明言。青少年の将来、今後の課題等を克服するために成長するツールを提供、尽力する。

『新世代プログラムに関するロータリーのビジョン及び理念』ロータリーの新世代プログラムは、将来私達の家族の未来、地域社会の未来、そしてロータリーの未来へと繋がる。

第7分科会 西川広樹君



服部良男ガバナーエレクトの「会員増強に力を入れる」との方針から、第7分科会にて「増強委員会」初の単独開催を行いました。

今期、常滑RCと一宮RCが、それぞれ10人程の増強を達成。これを受け、増強委員長から増強に至った要因の説明がありました。過去を遡ってデータを読み解くと、年齢層の高齢化が進んでいることが如実に表れています。それを踏まえた上で、何人を増強するのかの目標を掲げること、高齢化改善にむけて、若年層や女性会員の取り込みを積極的に進めて行くこと、この2点が委員全員の意見でした。

第8分科会 紅谷幸政君



2016～17年度の財団のテーマは「世界で良いことをしようーロータリー財団100周年を迎えてー」である。地区財団は6委員会より構成されていて、特に補助金は公金で

あり、適正な資金管理と透明性が求められる。また、ポリオプラス委員会では、2018年までにポリオを撲滅する目標として、永久にポリオを撲滅する。また、ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付の向上をはかる。

第9分科会 上田博行君

テーマは「未来に向かって世界平和の架け橋となろう」。



このテーマは米山記念奨学の理念でもあると、米山委員長の説明に始まり、主立った3点ほど報告いたします。

1. 寄付増進について

奨学事業の目的は、人造りが未来の人材育成になる。普通寄付と特別寄付があり、普通寄付についてはクラブ寄付、クラブ特別会費で捻出。(当クラブ5千円/人) 特別寄付は米山功労者(10万円)。5千円・1万円でも出来る。合わせて2760地区は、1人当たり2万円程の寄付に当たる。

2. 奨学生の選考について

①米山記念奨学会は公益財団法人となり、公平・透明性の上、基準に照らし合わせ選考。基準により指定校推薦(689名)、世話クラブ推薦(8名)、公募制(14名)、海外学友会推薦(1名) 2015年実績。

②学業、異文化交流の架け橋と、国際親善により世界平和に繋げる。

3. 世話クラブの役割

- ・2760地区の奨学生は40名で、環境作りに努力して欲しい。受け入れクラブも成長の要因になるのではないかな。
- ・奨学生と連絡を取り合い、行事に参加して欲しい。

汐止ロータリークラブ創立34周年式典参加報告

報告者 中西 巧 国際奉仕副委員長

■4月19日(1日目)



東海会長を筆頭に17名の参加者で4月19日から21日までの日程で、台湾の姉妹クラブ汐止ロータリークラブ創立34周年記念式典に参加してまいりました。桃園国際空港に到着した際には大勢の汐止ロータリークラブの皆様が出迎えていただきました。あまロータリークラブの参加者全員

が歓待振りに驚愕しておりました。

初日の夜には歓迎パーティを開催していただきました。林國誠会長始め総勢60名以上の盛大なパーティでした。姉妹クラブである事が実感できた瞬間でしたが、日本人の我々は台湾の方々のパワーに圧倒され続けていました。汐止ロータリークラブ会員の奥様も沢山参加していただきました。



■4月20日(2日目)

メインイベントの「汐止ロータリークラブ創立34周年記念式典」が開かれました。台湾3520地区のHwa-Min, Linガバナーも来賓として参加され盛大な式典でありました。Hwa-Min, Linガバナーは、米山奨学生として慶応大学を卒業され、当地区加藤ガバナーと同窓生であり、日本語がとても堪能であられました。当クラブの東海会長は事前に勉強された現地語でスピーチされ、パーティ参加者全員から盛大な拍手をいただきました。式典においても当クラブへの「おもてなし」は特別レベルでした。汐止ロータリークラブ会員個別からのプレゼント、食事とアルコール、握手、記念写真など全てがボリューム満載で友好の証となっております。



■4月21日(3日目)

最終日も昼食会を開催していただきました。3日間の厚

情に対する御礼と、5月9日・10日に名古屋にて再会する約束を交わしました。今迄諸先輩が継続して構築された姉妹クラブの友好関係を実感できました。この感動を若い世代へ引き継ぐ必要も感じさせられました。

■あとなぎ

汐止ロータリークラブから5月9日から2日間で約20名が名古屋を訪問され、9日の当クラブ夜間例会に参加される予定です。元祖日本人の「おもてなし」の心を感じていただける様に準備したいと思います。

委 員 会 報 告

「第24回RYLAセミナーへ参加」

青少年奉仕委員長 山田 尊久君

日時 平成28年3月26日（土）・27日（日）

場所 愛知県美浜少年自然の家

第24回RYLAセミナーが名古屋北ロータリークラブのホストで、120名程の受講生が参加して開催されました。あまロータリークラブから受講生として山路哲也、吉川ひより、2名の高校生と一緒に参加しました。

今回のテーマは、「友情と寛容の輪を拡げよう」です。

「すべては心から」と題して東大寺長老、北河原公敬さんの基調講演がありました。手を差し伸べる、相手を思いやる心持ちをもっともっと考えていかななくてはいけない。これからの日本を考えた時、これがキーワードになるのではないかと感じました。

講演の後、6つの分科会に分かれて今回のテーマについて話し合いが行われました。各分科会の教室を訪問し熱気ある話し合いを目のあたりにしました。翌日、分科会毎に発表会に向け、自分たちのアイデアで表現方法を工夫していました。

吉川ひよりさん達の分科会では、寸劇をしながらの発表でびっくりさせられました。

2日間のセミナーを通して、寺本善雄地区青少年奉仕委員長と同室となり、青少年奉仕に話が弾み、名古屋北ロータリークラブの最高齢、浦野三男ロータリアンからは、ロータリーは自分から参加して動いてこそわかることが多いということ。そしてこれからの時代、若い人への教育が大事だと熱心に話しかけていただいたことは、何よりの収穫でした。

RYLAセミナーは、受講生だけでなくロータリアンにとっても素晴らしい体験となりました。受講生には、二日間の経験を生かして、さらに自分を磨いていってほしいと願わずにはられません。ホストの名古屋北ロータリークラブの皆さんに心からお礼を申し上げます。



吉川ひよりさんからRYLAセミナーに参加した感想を送っていただきました。

吉川ひよりさん

寛容。いきなりこの言葉を聞いた、15歳の私は少し戸惑いました。なんだか、広くて、あったかくて・・・曖昧でした。私がセミナーを終えて考えた「寛容」とは、黒白はっきりさせるのではなく、グレーでいいんだと思う事。つまり、相手の意見をしっかりきき、なるほど、こういう意見もあるのかと思うこと。そして、いつでも、相手を受け止める柔らかい心があるかということ。この2点でした。寛容であれば自然と笑顔があふれ、笑顔でいれば寛容な心が持てます。

このセミナーでは、外国からの留学生達も一緒に話合いました。しかし、日本人も留学生もお互いに、どうせ話せないという諦めがあったように感じました。こんなときはだれか一人でも、かけ橋になれる人が必要です。英語が話せる人ではなく、笑顔で寛容な柔らかい心を持っている人、そんな人であればかけ橋になれると思います。これからは、そういった人が少しでも増え、どの国の文化も愛し合える。そんな世界になっていって欲しいです。

郡山佳也君（姫路東RC）

- ・本日は、急な参加ですがよろしくお願いします。

東海広光 会長

- ・汐止RC創立34周年記念式典にご参加の皆様、お疲れ様でした。17名という大勢の皆様にご参加いただき、友好を深める事が出来ました。有り難うございました。
- ・篠田正志年度地区研修・協議会にご参加の皆様、お疲れ様でした。本日発表の皆様、よろしくお願いいたします。

西川広樹 副会長

- ・地区研修・協議会に出席の皆さん、ご苦労様でした。

児玉憲之 幹事

- ・汐止RC34周年式典に参加の皆様、お疲れ様でした。

家田安啓君

- ・4月23日に60才になりました。ささやかに幸せです。

伊藤正征君

- ・渡辺君、東京見学大変お世話になりました。銀座の夜、私には大変刺激的な一夜となり、有り難うございました。
- ・中島君、土曜日は大変お世話になりました。沖縄のお土産、大事にします。

黒川元則君

- ・汐止に初めて参加させていただきました。おもてなしに感激しました。
- ・前回の有志飲み会残金を、ニコボックスに入れさせて貰いました。

古川 宏君

- ・汐止RC34周年記念式典ご参加の皆様、大変お世話になりまして有り難うございました。

北島奈穂子君

- ・ニコボックスの皆様、お疲れ様です。

山田幸治君

- ・ブルーレイレコーダーで録画した、映像のプロテクトを外すソフトが使用不能となり、残念です。

中西 巧君

- ・汐止RC創立34周年式典に参加された皆様、大変お疲れ様でした。
- ・昨日の地区研修・協議会に参加された皆様、お疲れ様でした。新しいロータリーの姿を見ることが出来ました。

篠田正志君

- ・地区研修・協議会出席の皆様、お疲れ様でした。次期年度が近づいて来ましたので、よろしくお願いします。
- ・台湾・汐止RC34周年記念式典に参加の皆様、お疲れ様でした。

高山 敏君

- ・台湾・汐止RCへ訪問されました皆様、お疲れ様でした。
- ・地区研修・協議会にご出席の皆さん、ご苦労様でした。

田中正博君

- ・今日は姫路東RCの郡山佳也君をお連れしました。同業者で勉強仲間です。よろしく！！

山田尊久君

- ・地区研修・協議会に参加。鈴木次期地区社会奉仕委員長より、防災について特に力を入れて欲しいとの言葉。実感しています。

藤田隆志君

- ・地区研修・協議会ご出席、お疲れ様でした。

後藤雅光君

- ・汐止34周年記念式典に参加しました。お世話になりました。

黒野晃太郎君

- ・地区研修・協議会出席の皆様、お疲れ様でした。少しプレッシャーを感じてきました。

水野 眞君

- ・本日の健診でクリアーしました。医業のおかげです。感謝です。

大西晃弘君

- ・昨日の地区研修・協議会にご参加の皆様、大変お疲れ様でした。

田邊正紀君

- ・後藤眞君、先日は遅くまで有り難うございました。今週もまたよろしくお願いします。

投函件数21件 合 計 64,000円